

松 緑 白 花

Vol 14

石垣市立石垣中学校
教 頭 伊舎堂 用右

1 学年・進路を考える（総合的な学習の時間）



「先輩に学ぶ進路講話」

【ねらい】

進路講話を聞いて、生徒一人一人が将来に夢を持ち自らの生き方を定め、進路について考える態度を育成する。（キャリア教育・進路指導）

去った12日（金）の5～6校時にかけて先週、3学年が行った先輩に学ぶと同じく、1年生バージョンを当初の計画通り実施しました。

今回、講師を務めていただいたのは、次の6名の先生方です。講師の先生方の講話から印象に残った言葉を少しですが、前回同様掲載させていただきます。先生方、ありがとうございました。

【宮良 信浩校長先生】（保健体育）

- ・職業は星の数ほどある 将来について夢を持つことが大切である
- ・体育の先生になりたいと思い、その夢を実現できた 素晴らしい人生＝自分が楽しめる人生
- ・信頼できる友（何でも話せる・相談できる）をつくること

【田里 友悟先生】（保健体育）

- ・元気に！楽しく！一生懸命！教師の魅力は生徒の成長を一番近くで見られること
- ・ケガで挫折も味わった学生時代の経験から部活＝サッカーで恩返しがしたいと思い、新聞奨学生で日体大へ進学、卒業後スポーツインストラクターやバスの運転手等も経験
- ・心がけていること→「学ばざるもの教えるべからず」教師・指導者であることから、自分自身も常に学び続ける教師でありたい

【荷川取 保先生】（保健体育）

- ・ハンドボールとの出会い（恩師＝宮良校長）体育を学びたいという思いから日体大へ進学
- ・体育の先生になりたいと本気で思い、教員採用試験に何度もチャレンジ
- ・目標を持ち、計画を立て、行動し努力すること。目標達成に向け努力を惜しまないこと

【嘉手川 里史先生】（数学）

- ・小中時代の先生方（恩師）との出会い、憧れと自分は勉強ができるという少しの勘違いから教師を目指した（人との出会いを大切に）
- ・教員採用試験で大きな挫折を味わうも家族（父親）・友人からの温かい励ましで頑張れた
- ・何か好きなことを1つでもいいから見つけて欲しい

【大濱 朋子先生】（美術）

- ・中学生の時にゴッホの絵に出会い、生涯絵を描き続けようと思った。（恩師との出会いで絵描きになろうと決意した）
- ・大学卒業後、画家として個展も開催した。（自分自身の小さい頃からの描いた絵をスライドで紹介しながらの進路講話）
- ・今の自分の積み重ねが未来の自分を築いていく

【当山 哲郎先生】（保健体育）

- ・小学4年生で高校の進路を決めた（本島の学校＝バスケの強豪校）
- ・中学校時代（石中）は生徒会の副会長もしていた
- ・自分の好きなこと＝趣味＝仕事 自分の好きなことが仕事になると楽しいし続けられる

裏面には写真も掲載しています。（少ないですが……）ご覧ください。

生徒の感想から、校長先生をはじめ、話が面白かったという感想が多く、さすが先生方、生徒の心をつかむネタや話し方等しゃべりのプロですね。写真等も交えての進路講話、つくるのも大変だったのでは？高校についても真剣に考える、夢を持つ、友達をつくる等々、皆さんの感想には前のページに要約した内容のものが書かれていました。心に響く話（響育）でした。ありがとうございました。

今の自分の積み重ねが未来の自分を築いていく！

“自分の道は自分で切り拓く” 進め！石中生！



宮良 信浩 校長先生



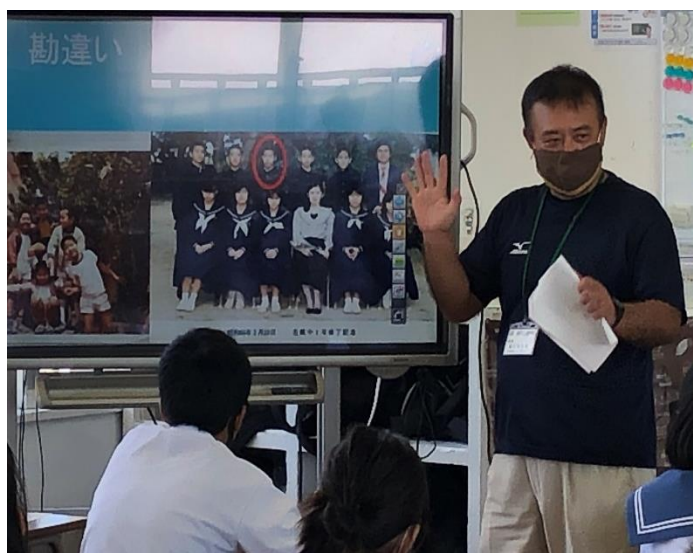
大濱 朋子 先生



田里 友悟 先生



荷川取 保 先生



嘉手川 里史 先生



当山 哲郎 先生